

新型コロナウイルス感染対策と 聴覚障害児への配慮

石川県立ろう学校 きこえの相談支援センター

マスク着用による困難

- 新型コロナウイルス対策の観点からマスクの使用は不可欠です。しかし聴覚障害児にとっては重要な情報である口形が隠されるという問題があります。

困ったなあ
なんて言っ
てるか、わ
からな
いよ…



こwかAよ\$し&?

マスクのせいで
よく聞き取れないイメージ

マスク着用による聞き取にくさを補うために

- 視覚的な情報で伝える。
(例) ジェスチャー、板書を多めにする
図や絵・写真・実物等を提示する



聴覚障害のある子どもたちは聞こえなかった部分を推測して補いながら聞いています。視覚的な情報が提示されることでイメージが持ちやすくなり、推測する際にも役立ちます。また、文字で確認すれば聞き取りにくい言葉をはっきりと認識し、正しく覚えることができます。

マスクの代わりに使用できるもの

- フェイスシールド



口形が見えるフェイスシールド。

材料は、A3ラミネートフィルム、すきまテープ、調整クリップ付きのひもです。
すべて、100円均一ショップで購入することができます。

シールドのサイドに切り込みを入れて顔を覆うように作られています。

マスクの代わりに使用できるもの

- フェイスシールド



下からフェイスシールド。

材料は、A4ラミネーターフィルム、配線用ケーブル、クリップです。

これからの季節は、あまり暑くなく使えそうです。

フェイスシールドの作り方はインターネットを検索すると他にもたくさん出てきます。

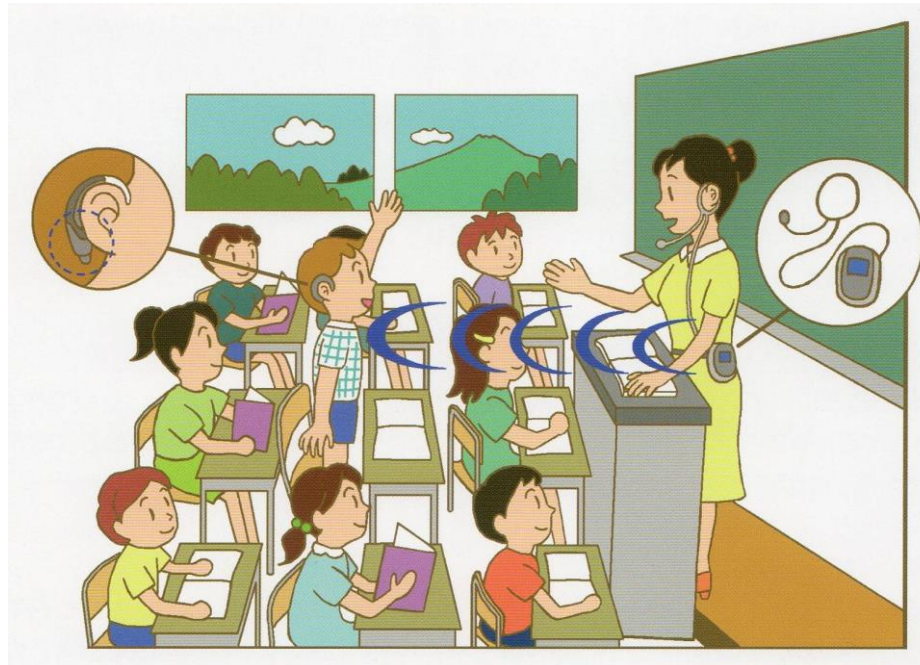
マスクの代わりに使用できるもの

難聴学級や通級教室など少人数での場合は透明なついたてを利用していいでしょう。



ロジャーマイク等の消毒

- 通常の学級で学ぶ聴覚障害児の多くはロジャーマイク等のFM補聴援助システムを使用しています。しかし、感染予防のためにはこれらの消毒や使用方法にも大切なポイントがあります。



ロジャータッチスクリーンマイク 使用時の注意

- タッチスクリーンマイク表面は平滑であり、ウイルスが長期間生存しやすい環境です。多数の人が表面を触らないようにするため、使用するのは教員のみとするなどの配慮が必要です。



ロジャータッチスクリーンマイク 消毒時の注意

・ポイント

- ① 開口部（マイクの部分）に液体を入れない
- ② 濡れている時にボタンを押さない
（ボタンの隙間から液体が入る可能性がある）
- ③ 揮発性の高い消毒液を用いる（エタノール等※）
- ④ 消毒液を直接かけるのではなく、使い捨ての
布等を濡らしたもので拭く。

（フォナック社のHPではエタノールは推奨していませんが、取扱業者に確認したところエタノールでも今のところ問題が生じたことはないとのことでした。推奨品はイソプロパノール70%液です。使用の際は自己責任でお願いいたします。）

マイク



ロジャーパスアラウンドマイク 使用時の注意

- ・パスアラウンドマイクは子どもたちで回して使用することを想定されたものですが、話す度に消毒を行うのは現実的ではありません。しばらくは使用を控えた方がよいかもしれません。
- ・子どもたちが輪になって話し合う活動は少なくなると思います。意見を言う人はみんなの方を向いて話し、先生がそれをマイクを通して繰り返してあげるとわかりやすくなります。



マルチマイク使用時の注意

- ウイルスに触れる人数を減らすために使用する人を教員に限定するなどの配慮が必要です。使用後は飛沫がつきやすいマイク表面の消毒をしましょう。



GNリサウンド マルチマイク

マルチマイク使用時の注意

- 消毒の際は開放部（マイク等）に液体が入らないようにしてください。また、濡れた状態でボタンを押さないでください。
- 消毒剤で塗らした布（またはティッシュ等）でマイク表面を覆い、5分ほど放置した後拭き上げれば消毒できます。

※メーカーに問い合わせたところ、マルチマイクは元々消毒することを想定しておらず、特に推奨する消毒剤はないとのことでした。エタノールやアルコールにより表面が変質、変色する可能性があります。ご使用の際は自己責任でお願いします。



こんな時こそ、相互理解を！

- 新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な人が困ったり、ストレスを抱えています。
- 自分の身近にもきこえにくい人がいて、困ることがあるということを、クラス全体で理解する機会を持つことが大切です。
- きこえにくい人が、わかりやすくなるにはどんな工夫をしたらいいか、今まで行っていた工夫をどう変えていったらよいか、みんなで話し合えるようなクラスになるといいですね。

その他不明な点がありましたら、お気軽にご相談ください。
下記のメールアドレス、または電話でも結構です。

roukikoe@ishikawa-c.ed.jp

076-242-6218 きこえの相談室まで!